

ピアノトリオの夕べ

吉井美由紀 フランツ・ズィーゲルト ティル・シュスラー



Franz Siegert
Violine



Miyuki Yoshii
Klavier



Till Schüßler
Violoncello

Klaviertrio - Abend

Miyuki Yoshii Franz Siegert Till Schüßler

Program

モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ホ長調 KV542
W.A. Mozart: Klaviertrio E-Dur KV542

ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲 第1番
D. Shostakovich: Klaviertrio c-moll Nr.1

シューベルト：ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 作品99
F. Schubert: Klaviertrio B-Dur D.898

2024. 9/29 《日》 19:00 開演 (18:30 開場)

東京オペラシティリサイタルホール

京王新線「初台」駅下車、東京オペラシティ出口より直結。03-5353-0789

全自由席 ¥5,000 学生 ¥3,000 ※未就学児の方のご入場はご遠慮ください。



[前売] チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ・ 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 ・ ソレイユ音楽事務所 <https://www.soleilmusic.com>

主催●ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 後援●オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京 協力●株式会社テンポプリモ

ピアノトリオの夕べ

出演者プロフィール

■吉井 美由紀 Miyuki Yoshii, *Klavier*

東京藝術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラス修了。

1988～1996年、ミュンヘン国立音楽大学非常勤講師として、パウル・マイゼン教授のクラス等で伴奏助手を勤め、1996～2002年、東京藝術大学に於いて同じくP・マイゼン教授のもとで非常勤講師、さらに1998年より東京学芸大学非常勤講師。1987年マリア・カラス国際コンクール奨励賞受賞。シューベルト国際コンクール（於ドルトムント）ファイナリスト。

演奏活動は多岐に亘り、歌曲伴奏者、室内楽奏者として、エルンスト・ヘフリガー氏、平松英子氏、元ウィーン・フィル首席トランペット奏者ハンス・ガンシュ氏、チェロ奏者アダルベルト・スコッチ氏、フルート奏者ヘンリック・ヴィーゼ氏、タチアナ・ルーランド氏等と共演、またバイエルン放送局、NHK-FMにてレコーディングを行う。ソロピアニストとしては、ドイツ各地でリサイタル開催、白寿ホール、東京文化会館等で定期的にリサイタル開催のほか、バッハの平均率クラヴィーア曲集連続演奏会を国内外で展開。また、4人のピアニストによるARTIS Piano Ensemble（8手連弾）のメンバーとして、日本、ドイツの各都市で公演。

2019年ウィーン放送交響楽団コンサートマスター フランツ・ズィーゲルト氏とのデュオリサイタルは絶賛を博す。

杉山千賀子、堀江孝子、室井摩耶子、クラウス・シルデの諸氏に師事。

■フランツ・ズィーゲルト Franz Siegert, *violine*

1981年ドレスデン生まれ。2009年よりウィーン放送交響楽団のコンサートマスターを務める。

16歳よりトロツィンゲン音楽大学の高才能クラスでルドルフ・ランプ教授に師事、その後ウィーン国立音楽大学でクリスティアン・アルテンブルガー教授に師事、2009年最高位の賞を得て卒業する。また、コロラド州アスピンのマスタークラスで、ドロシー・ディレイ、クルト・サスマンスハウスから重要な芸術的刺激を受ける。

在学中からグスタフ・マーラー青少年管弦楽団のコンサートマスターを務め、2007年にはヨーロッパ文化財団賞を受賞する。またバイエルン国立歌劇場、バイエルン国立管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団（ロンドン）、ウィーン室内管弦楽団、グルベンキアン管弦楽団（リスボン）、バスク国立管弦楽団（サン・セバスチャン）のゲストコンサートマスターとして招かれる。名指揮者クラウディオ・アバドの招待で、ポーロニアのモーツァルト管弦楽団にも在籍。

ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者として度々来日。昨年カルクリーナ・ピアノトリオのメンバーとしてアメリカツアーを行う。2018年よりリンツのブルックナー管弦楽団の客員コンサートマスターにも就任。

■ティル・シュスラー Till Schüßler, *Violoncello*

シュトゥットガルトに生まれる。8歳で兄妹とのピアノトリオをはじめ、公の演奏活動を行う。

ケルン国立音楽大学にてクルト・ヘルツブルッフ、ウィーン国立音楽大学にてバレンティン・エルベンの両教授に師事。その間、アマデウス弦楽四重奏団、アルバン・ベルク弦楽四重奏団にも師事。

1989年ハーグ国際音楽コンクールなど数々のコンクールで受賞。

ウィーン室内管弦楽団首席チェロ奏者を経て、現在ウィーン放送交響楽団奏者。また室内楽奏者としてもウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団奏者として度々来日する他、多種の編成でヨーロッパ、アジアの各地で活躍。

演奏の傍らウィーン・プライナー音楽院の教授を経て、夏期講習、マスタークラスなどで後進の指導に当たる。

演奏楽器：ベルナルデル

Klaviertrio-Abend

Miyuki Yoshii

Franz Siegert

Till Schüßler